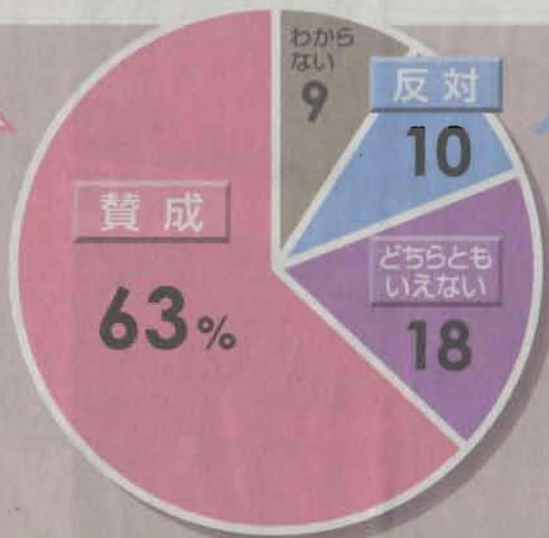


2302人が
答えました

混合診療の解禁、どう思う？

「賛成」の人が
答えました その理由は？

選択の幅が広がる	592人
治療の機会が増える	422
負担が少なくなる	305
新薬などの 早期承認につながる	73
技術の進歩に役立つ	44
その他	28



「反対」の人が
答えました その理由は？

お金のあるなしで 医療に差がつく	104人
必要な治療なら 保険でカバーすべきだ	64
不当に高い医療が 提供される	25
安全性などが確認 されない医療が広がる	24
国による 制限は必要	4
その他	3

全員が
答えました 医療の負担と
給付、どう考える？

負担が増えても多くの医療を 保険でカバーすべきだ	954人
財政を助けるため「免責」の 導入を考えるべきだ	771
負担が増す保険対象の 拡大には反対	227
負担を減らすため保険対象を 減らすのもやむを得ない	51
わからない	222
その他	77

「負担増容認」の
人が答えました 自己負担は
何割までなら
たえられる？



「負担増導入」の
人が答えました 1回の診療の
免責の上限は？



グラフィック：岡山 進矢 [http://eg.m78.com]

- 高い値段の保険外治療の有効性ばかりを強調する医者には、なぜか不信感を抱いてしまう(兵庫、43歳女性)
- 混合診療解禁には賛成だが、医療機関が保険診療をわざと避けないように監視すべきだ(神奈川、58歳男性)
- 大多数の病気は保険医療で事足りるのでは。そこから外れる治療をどう評価するかは難しい(東京、47歳男性)

- 人工透析を受けている。「カネの切れ目が命の切れ目」になることだけは避けてほしい(神奈川、44歳女性)
- 喫煙や飲み過ぎ、食べ過ぎ。病気になりやすい状況をつくっている人の保険料は割り増す(神奈川、40歳男性)
- 米国の現状を聞くにつけ、医療だけは後追いすべきではないと。まず無駄な受診をなくす(宮城、34歳女性)

beモニター 「アスパラクラブ」会員のうち、全国で約4400人が登録。毎週インターネットで回答を得ている。

- 免責があれば、われわれも日ごろからもっと節制し、よく考えて医者にかかるようになる(東京、50歳女性)
- 延命治療が保険財政をがけっぶちに追い込んでいく(愛知、43歳男性)

be between

テーマ： 混合診療

海外で普及している新薬や新しい治療法なのに、日本の健康保険の対象でないため、治療をあきらめなければならぬ。こうした問題に密着に絡むのが、保険がきく診療とされない診療を組み合わせた「混合診療」を原則として認めない国の方針です。混合診療を受けると、本来なら保険がきく治療まで全額負担になります。昨秋にはがんを患う男性が混合診療の解禁を求め、国を相手取って起こした裁判で「混合診療に

保険を適用しないのは違法」という初の判断が示されました(国は控訴)。beモニターの皆さんに聞いたところ、混合診療の解禁に「賛成」が6割以上にのぼりました。実際に、がんの治療で保険のきかない薬の使用をあきらめたという東京の43歳女性は「多額の診療費をすべて自費で負担するのは、よほどの富裕層。命でさえ、お金で買えるのだと痛感した」。医療の負担と給付のあり方については、「負担が増えても、できるだけ多くの医療を保険でカバーすべきだ」と考える人が4割いました。これに対し、「窓口での負担を増やすのは病気をした人にペナルティーを科すようなもの。相互扶助という保険の意味合いが薄れる」(京都、50歳女性)、「治療を切実に求める人の気持ちも分かるが、一部の治療のために保険料が増えることには理解が得られないのでは」(千葉、41歳女性)、「道路と同じで、必要か」と聞かれれば「す

先進的な医療受けたいが

を削らないと財政が持たない」(広島、42歳女性)との意見もありました。

(担当 鈴木淑子)